

安曇野市公民館報

安曇野市
中央公民館
No. 1
TEL 62-4565

公民館報発刊にむけて

安曇野市教育委員会

教育長 丸山 武人

先ず始めに、この度の東日本大震災で被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた皆様に、心からお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます。

さて、早いもので新市が発足して6年目を迎えておりますが、この間、市教育委員会は様々な面で市民の皆様にお世話になり、ご支援ご協力を頂いておりますこと、改めて心より御礼申し上げます。

かねてより合併協議会で方向が示されておりました全市的な公民館報の発行につきまして、ようやくそれが実現し、ここで「安曇野市公民館報第1号」が発刊の運びとなりました。大変意義あることでありこの上ない喜びであります。ここに至るまでの多くの皆様のご理解ご見識の賜物であったことを思い、深甚なる感謝を申し上げます。特に合併後にも独自に刊行していただきました堀金公民館の皆様方には深いご理解を

頂いたところであります。重ねて感謝申し上げます。

営々と流れ育ってきている伝統ある地域の素晴らしい文化を縮めたり無くしていくことではなく、(い)いものは広く市民で享受する、他地域の文化も広く市民に享受して頂き学び育てていく、その上で安曇野市民の一体感の醸成の一助

5地域公民館長より



中央・堀金・内田館長
23年度より、安曇野市全体としての「公民館報」が発刊されること

となり、市内に99館ある地区公民館の活動や取り組みなどの情報が、市内の皆様方に届けられることとなりました。

この「公民館報」が市の一体感の醸成にも、少なからず貢献できればと期待をもちま



豊科・内川館長
待もしていま

堀金地域の皆様へ

昭和30年堀金村発足時、希望に満ちて発刊され、55年の長きに亘り地域の皆様に愛されてきた「堀金(村)公民館報」が、平成23年4月から安曇野市公民館報として再スタートを切ることとなるそうです。事前に堀金地域の皆様にお知らせできませんでしたので、この紙面をお借りしお知らせいたします。

館報編集委員として堀金独自のものがなくなるのは残念であり、先人の方々より引き継がれてきた堀金の文化ですが、安曇野市の中で更に発展することを願ひ、私たち編集委員もここで区切りをつけることとなりました。皆様にご協力いただいたことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

(堀金公民館報編集委員一同)

となれば、何かと不備があるうかと思いますが、このようなことを大切にし、願いながら、スタートしたいと考えております。今後、皆様方より様々なご意見、ご助言、ご叱責、アイデア等頂きながら、

より市民の皆様親しんで頂けるような公民館報にして参りたいと考えておりますので、ご協力のほどどうか宜しくお願い申し上げます。ありがとうございます。



穂高・中村館長

全市的な「公民館報」を発刊することは初めての試みですが、紙面の内容が市民の皆様方に愛される「公民館報」になるべく、5館の公民館が中心となり、協力しながら作り上げていきます。

は、「公民館報」は、発行側の一方的なお知らせなどにならないよう、市民の皆様方の声などをも

掲載しながら、共に創り上げていければと思っております。是非そのような機会がありましたら、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。



三郷・千國館長



明科・浅見館長

この「公民館報」が市民の皆様方と共に、安曇野市の一つの文化に育てあげられ、より活発に行われるようになることと確信しております。

第1号の「公民館報」の発刊にあたり、今後益々、この公民館報を、充実すべく、取り組んでまいります。

公民館事業紹介

① 豊科公民館

市内5地域の公民館活動を順次ご紹介いたします。第1回目は豊科公民館の活動についてです。

豊科公民館では、地域に住んでいる方々が交流し絆を深め、互いに助け合い協力し合うという「地域の力」を育てたいという願いで、25地区公民館の協力を得て、様々なことに取り組んでまいりました。また、生涯学習の場としての公民館の役割から、生きがいをもって充実した人生を送っていただくための学びの場をいくつか設定しました。それらの一部について概要をまとめてみました。

世代間交流を通して地域づくりの場

○地区公民館対抗球技大会

2回行われた球技大会では夏季にはソフトボール、ドッジボールが行われました。冬季の大会は平成19年度までソフトバレーを行っていましたが、幅広い年齢層で楽しめるワンバウンドふらばーのバレーを20年度から冬の大会に取り入れました。体育指導委員さんが毎月の講習会に熱心に取り組み、普及に尽力していただいたことで、正式種目となりました。

○豊科さわやか市民運動会
3000名超の選手と応援者の参加で10月17日に開催されました。13種目中7種目に小学生が参加できるようにプログラムを編成しました。また、年輩の方にも参加いただけるように種目に配慮しました。



地区公民館対抗球技大会
ワンバウンドふらばーバレー

成果を認め合う交流の場

○豊科地域コーラスグループ交流発表会

この日を目指して1年間練習を積み重ねてきた9団体が発表を行いました。本格的な合唱曲から、童謡、賛美歌まで曲種も様々で、感情のこもった歌声が響き渡った半日でした。

○豊科地域文化祭

豊科近代美術館と豊科公民館を会場として実施しました。芸能発

表会では豊科高等学校の演劇部が初参加し、日頃の練習の成果を発表しました。出品者、出演者の高齢化と、団体に所属していない方の作品が少なかったことが課題として残りました。



コーラスグループ交流会

学びの場サロンド22IN豊科

○夏と冬の星空観察教室

夏は涼しくなった夜、冬は凍えそうな中で、夜8時から2時間、計4日間ブルーシートの上に寝転んで、親子で天の川などを観察しました。

○マクラメ体験教室

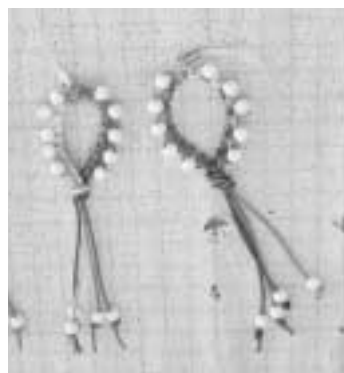
糸の結び目を組み合せて作品を作りました。今回はストラップを作り参加した親子に大好評でした。

○お茶（抹茶）体験教室

日常生活の礼儀作法を関係づけながら学びました。

○菊作り講座

菊作りの先進地（新潟県弥彦市）視察を含めて6回開催しました。豊科地域以外からの受講者も増え



マクラメ体験
完成したストラップ

若い人の育ちのお手伝い

○今年48回を迎える童謡祭り、30回の節目を迎える作詞作曲コンクールは例年のように5月5日の子どもの日に行行委員会が中心になって実施します。年々参加が増え、作詞作曲部門には市内小学生から49作品の応募があり、当日は入選者の表彰や最優秀作品の披露があります。

○市内4高校演劇部合同発表会

自主運営に向けて、発表会の立ち上げの準備や照明・音響等の操作の研修を行ったことで、当日は生徒が自信を持って運営でき、観に来られた方々の評判もよく、楽しい交流のお手伝いできました。

グループ紹介

明科地域芸術文化協会

会長 小林 直丈
私たち、明科地域芸術文化協会は、昭和61年4月に旧明科町において33団体273名で発足し、平成22年4月には25周年を迎えることができました。その間、5年ごとに記念式典を開催し、功労者表彰と祝賀会を行なってまいりました。

当協会では、芸術文化活動を生涯学習の機会と位置づけ、会員の親睦と技能の向上、及び明るいまちづくりに寄与することを目指して活動しています。

主な活動といたしましては、4月に総会及び芸能発表、6月に「明科あやめまつり交流芸能発表会」、10月末からの「明科地域文



明科あやめまつり交流芸能発表会にて

古きを尋ねて

① 住吉神社(二郷)

安曇野の南部に位置している松本市梓川の倭地域を始めとし安曇野市三郷の小倉地区を除く全域、更に豊科の成相・寺所・中曾根・熊倉の各地区より南に位置する範囲を包含する地域は、今から1000年程前平安時代の後期は「住吉庄」という荘園の領地であった。この荘園の総社であり鎮守とし齋祀されたものとされる住吉神社の御祭神は、古事記や日本書紀によつて、伊弉諾命の禊ぎ祓いに際し、海中より出現されたと伝えられる底筒男命・中筒男命・表筒男命という住吉三神に合わせて、神宮皇后・建御名方命の五柱の神々が奉祀されている。住吉三神は航海及び漁業の守護

域の芸術文化協会のご協力をいただき、市内唯一の芸能交流の場として5回目を迎えることができました。大勢の皆様方のご参加により盛大に行なうことができ、たいへん感謝しております。今後、交流がいつそう深まっていくことを願っています。

現在、当協会に所属しているクラブは、芸能部が25団体、学芸部が6団体で、会員は210名。会長以下34名の役員が自主独立の理念のもと、「自分たちでできるこ

神であると共に農耕、開拓、災害除けや和歌と文学の神でもあった。この神社は往古地頭や領主の庇護を受けて現在に至っている。



江戸時代「住吉五社大明神」と呼ばれ、いつ頃からか榎と木集落の産土神とされ、元和元年の住吉新田村が成立後は3つの集落の鎮守の社となった。明治13年に及木が氏子を離脱して独立後は榎と

とは自分たちでやる」をモットーに活動しています。また、会員も当協会の活動に積極的に参加し、お互いの目的に向かって励んでいます。

終わりに、安曇野市における芸術文化活動のさらなる発展のため、安曇野市芸術文化協会連絡協議会において、今後の安曇野市に必要な芸術文化事業を、5地域の芸術文化協会が協力し合いながら進めていくための方向付けができることを願っています。

住吉のお宮として崇められ今日に及んでいます。社叢全域と御神木の檜の巨樹は安曇野市の天然記念物に指定をされ、五間社流造、こけら葺き本殿と神社の古文書や絵馬等が有形文化財に指定されている。毎年4月最終週の土・日曜を例大祭と定め、海神を縁とするお船舞台（山車）に、戦国時代歴史絵巻の名場面を木偶人形で飾り立て曳行し、寿ぐ伝統文化は、無形民俗文化財に指定されている。神社がこの地に鎮座して以来氏子等により7年目毎に小遷宮として20年毎に大遷宮祭事が営まれる伝統の行事が行われ、1200年目を迎えた一昨年には社務所改築等記念の事業が盛大に斎行されたほか、珍しい湯立神楽の神事が復活したり、新しいお祭「お田植えまつり」と「拔穂祭」が始められた。

地区公民館だより

中堀地区公民館

中堀地区は、堀金地域の南東に位置し、東は豊科本村、南は三郷温に隣接し、病院・スーパー・金融・JR駅等が3キロ圏内にあり、景観にも恵まれたところで、戸数は約300戸、内約100戸は新興住宅からなる地区です。

22年度は「地区住民の交流の場公民館」とし、住民と共に

- ◆「公民館研修旅行・納涼祭」
 - ◆「さつま芋掘り体験及び焼き芋会」
 - ◆「知つとこ中堀パート2」（神社に奉納されている絵馬講座）
 - ◆「肉まん料理講習会と外国人との交流会」（中国出身講師による講習会）
 - ◆「手芸教室2回」
- などを行いました。



さつま芋掘り体験及び焼き芋会

公民館活動には、参加者が少ないといわれますが、役員が楽しいと思う事業を計画すれば、地区住民も気軽に参加していただけることが実感でき、公民館役員のお別れ会では、今年度の反省と、来年度の取り組みの話題で1年間の活動が終わりました。

(中堀地区公民館長 丸山明男)

下堀地区公民館

堀金下堀地区は戸数623戸、人口1820名と堀金9地区の中では1番の大部分です。

主だった活動を紹介しますと6月に地区の皆様へ人気のバス旅行、8月は地区最大のイベント「ファミリーフェスティバル」9月には「外国人から見た日本」と題して人権学習講座を開催し、堀金地域体育祭・駅伝大会への参加と、行事を行ってきましたが、駅伝大会では第4位と大健闘を見せました。11月の研修旅行では、高瀬川テプコ館等の見学を行い、また12月には区民ボウリング大会が開催されました。お正月用のしめ縄講習会には、90名の子どもたちが参加し、指導者の下、熱心に講習を受けました。

2月に行われた冬季スポーツ大会では、フットサル、シャッフル

ボードで悲願の優勝を成し遂げました。

3月11日に東日本大震災が発生しました。大災害の中で多く聞かれた言葉に「絆」がありました。このような時には地域の皆様の絆が大変重要になってくるんだと実感しました。これからも公民館活動を通して、区民の皆様の絆が強く結ばれることを願っています。

(下堀地区公民館長 須澤佳正)

私は一生懸命

安曇野市が誕生して5年、私たち芸術文化協会も、安曇野市文化振興計画の基本理念「学ぶ心が育ち、文化のかおるまちをつくります」とあるように、それぞれ地域で永年にわたって引き継がれてきた伝統芸術文化を、会員がそれぞれ趣味に活かしながら協会の一員として大切に、安曇野市としての地域力向上のため活動しているところです。穂高文化協会は学芸・芸能併せて64サークル約700名の会員がありますが、50数年の歴史を持つ穂高文化祭は、私たち文化協会が主体となり計画、会場準備、運営を会員皆で参加し、開催しております。

市合併以来5地域の芸術文化協会は協力し合い交流を深め、お互いの地域活動を勉強しあい



しめ縄講習会



安曇野市芸術文化協会 連絡協議会 濱 忠雄

非常に良い方向へと進んできていると思います。そこで、本年度正式に安曇野市芸術文化協会連絡協議会を立ち上げるため準備をしているところです。今後益々連携をとり、教育委員会・公民館・芸術文化協会連絡協議会が三位一体となって、市民一人ひとりの人間性の向上を図り、「残したい・伝えたい・感じたい・学びたい・育てたい」まちづくりを頑張って進めてまいります。